



- 学校教育目標 : ふるさとを愛し、ふるさとから愛される「ときわっ子」の育成
- めざす学校の姿 : 美しい学校(美しい心の育成&美しい環境の整備)
- めざす子どもの姿 : いつも笑顔で 元気です!



持久走大会を通して

12月2日(水)の持久走大会に向けて、中間タイムに全校で運動場を走っています。走路を低・中・高学年で分け、音楽に合わせて7分間、各自のペースで走ります。



中間タイムだけでなく、朝、登校後に自主的に走っている子どもたくさんいて感心します。

ところで、目標と目的の違いを考えたことはありますか?私はこのように考えています。

目標:「～をする」「～になる」(ゴールが明確で見えやすいもの)

目的:「～のために」(ゴールがなくて見えにくいもの)

子どもたちの多くは、持久走大会に順位やタイム、ライバルとの勝負など、目に見える目標をもって臨みます。もちろん、見えなければ、達成できたかどうか分からないので、目標をもつことは大切です。しかし、一方で、何のために持久走をしているのかという本質的な目的の部分にも気づかせてあげなくてはなりません。

持久走の目的は、体力の向上だけでなく、目標達成に向けて努力を積み重ね、達成する喜びを味わうことや困難を克服しようとする強い精神力を培うことでもあります。

一生懸命走る子どもたちに対して、目に見える順位やタイムのみを賞賛するのではなく、見えにくい部分を価値づけてあげることも私たち大人の役割だと思います。

持久走大会を通して、がんばった子どもたちに声をかけていただくようお願いします。

ウサギとカメ

イソップ寓話に出てくる「ウサギとカメ」の話をご存知だと思いますが、あのお話をみなさんは、どう解釈されますか?

ほとんどの人は、「ウサギは油断したから負けた。逆に、カメは地道にがんばったから勝てた。」と解釈し、「才能よりも努力することの大切さが伝わる話」と捉えるのではないのでしょうか。

ただ、解釈の仕方はいろいろあって、「『何を見据えて勝負することが大切なのか』を教えてくれる話」と捉えることもできます。「カメ(相手)ばかりを見ているウサギ」VS「ゴール(目標)をひたすら見ているカメ」という構図で、「見ているところの違いが勝敗を決めた」という捉え方です。

勉強、スポーツ…。学校でも社会に出ても、実際に人と競い合う場面はたくさんあります。しかし、目の前の相手ばかりを意識して、勝敗に一喜一憂するのではなく、大局的なものの見方ができることこそ、これからの社会を生き抜くのに必要な力だと思います。